

AEDの使用手順



- ・心肺蘇生法を行っている途中で、AEDが届いたらすぐにAEDを使う準備を始めます。
- ・AEDにはいくつかの種類がありますが、どの機種も同じ手順で使えるように設計されています。

AEDは電源が入ると音声メッセージとランプで、あなたが実施すべきことを指示してくれますので、落ち着いてそれに従ってください。

① AEDを傷病者の横に置く

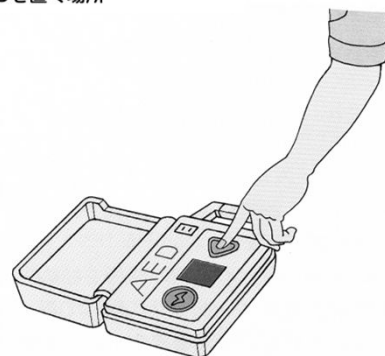
- ・AEDを傷病者の頭の横に置きます。



AEDを置く場所

② AEDの電源を入れる

- ・AEDのふたを開け、電源ボタンを押します。
- ・ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。
- ・電源を入れたら、以降は音声メッセージとランプに従って操作します。



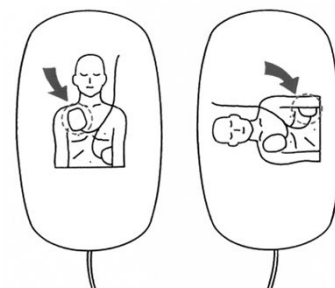
AEDの電源を入れる

③ 電極パッドを貼る

- ・傷病者の衣服を取り除き、胸をはだけます。
- ・電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールからはがし、粘着面を傷病者の胸部にしっかりと貼り付けます（貼り付ける位置は電極パッドに絵で表示されていますので、それに従ってください。）
- ・機種によっては電極パッドのケーブルをAED本体



電極パッドを貼り付ける位置



電極パッド

④ 心電図の解析

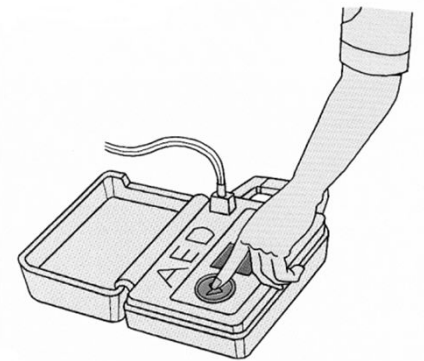
- ・電極パッドを貼り付けると「体に触れないでください」など音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります
このとき、「みなさん、離れて!!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認します。
- ・一部の機種には、心電図の解析を始めるために、音声メッセージに従って解析ボタンを押すことが必要なものがあります。



解析中は音声メッセージに従い離れる

⑤ 電気ショック

- ・AEDが電気ショックを加える必要があると判断すると「ショックが必要です」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。充電には数秒かかります。
- ・充電が完了すると、「ショックボタンを押してください」などの音声メッセージが出て、ショックボタンが点灯し、充電完了の連続音が出ます。
- ・充電が完了したら、「ショックします。みんな離れて!!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認しショックボタンを押します。



ショックボタンを押す

⑥ 心肺蘇生法を再開

- ・電気ショックが完了すると「ただちに胸骨圧迫を開始してください」などの音声メッセージが流れますので、これに従って、ただちに胸骨圧迫を再開します。



ただちに胸骨圧迫を再開

こんな場合は？



① パッドを貼るとき

・傷病者の胸が濡れている場合

濡れている場合は、タオル等でふき取ってから電極パッドを貼ります。

・胸に貼り薬がありパッドを貼る際に邪魔になる場合

貼り薬にはニトログリセリン製剤や喘息薬があります。貼られている場合は剥がして、薬剤をふき取ってから電極パッドを貼ります。

・心臓ペースメーカーや埋め込み型の除細動が埋め込まれている場合

胸の皮膚が盛り上がり、下に固いものが触れるのわかります。電源を貼る位置に心臓ペースメーカーや除動器の出っ張りがあるときは、そこから少し離れたところへ電極パッドを貼ります。

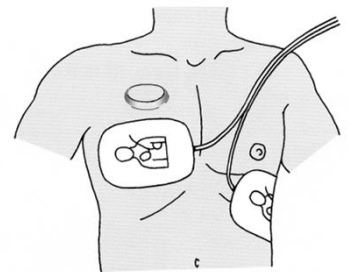
・胸毛が濃い

胸毛が濃い場合には、電極パッドが体表に密着しないため「きちんと貼ってください」や「接触が不良です」などのメッセージが流れます。

この場合は、電極パッドを強く押し付けて密着させるか、貼った電極パッドをすばやくはがして貼り付ける部分の体毛を除去し、予備の新しい電極パッドを貼り直します。



濡れている胸をふき取る



心臓ペースメーカーなどが皮膚の下に埋め込まれている場合

② 電気ショックの適応がない場合

・心電図解析後「ショックは不要です。ただちに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始してください」などの音声メッセージが出たら心臓のリズムは除細動では治せないものです。

この場合には、メッセージに従ってただちに胸骨圧迫を再開し、胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の組み合わせを続けます。

心肺蘇生法を再開して2分(5サイクルほど)経ったら、AEDは自動的に心電図の解析を再び行います。音声メッセージに従ってください。

③ AEDのメッセージとテキストの手順が異なる場合

- ・AEDの機種によっては、この資料の手順と異なるメッセージが流れるものがあります。
その場合には、そのAEDの指示するメッセージと点滅ランプに従って電気ショックを行ってください。